



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail:lets@some.jp

うるわし通信

平成27年1月

交流拠点の灯を消さないで

新春、松井市長インタビュー

インタビュー 浅川 肇

浅川 新年おめでとうございます。早速ですが一年をふり返って頂いて、良い企画と自ら思われること
をお聴かせ下さい。

市長 国は地方創生とっています。桜井市は「歴史文化遺産」を生かしたまちづくりを基本と考えて
います。具体的には、まちづくりの拠点として市民活動交流拠点を設置したことです。

浅川 歴史文化遺産を生かすことは、歴代市長も、あるいは他の人でも考えたことでしょうか、市民活
動交流拠点は、他の人では実現できなかったでしょうね。

市長 ほかに医療・保健センターを総合庁舎の跡地に持って行き、今年こそ桜井市の緊急医療在宅介護
の拠点づくりを目指し、消防署を土木事務所の跡に移して防災の要にするつもりです。

浅川 松井さんは市民サイドから推されて市長になられたのですが、官僚の壁があるのじゃないでしょ
うか？ 市民としては縦割り行政の壁に悩まされることが多々あります。

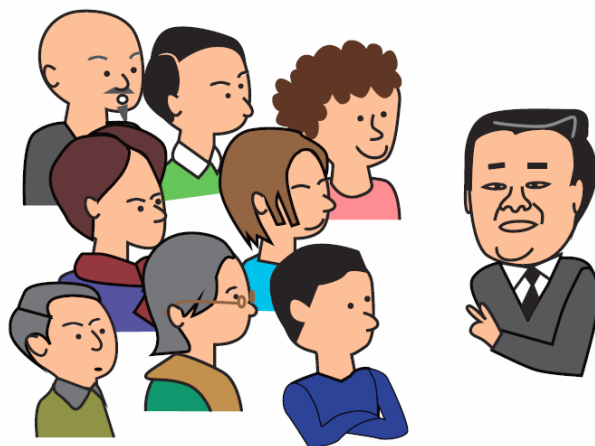
市長 市には先送りされてきた課題が多々あります。先人の努力もあり、行財政改革を進めた結果、わ
ずかですが黒字決算となりました。まずは課題を片づけ、国や県の力も借りながら、地域に活力
をとり戻したい、守りから攻めに転じたいと思っています。横断的になるよう努力しますよ。

浅川 先ほど言われた市民活動交流拠点の問題ですが、3月で県の補助金を活用した人材配置が終わるの
で、4月からどうなるのか、市民運動サイドは不安に感じています。せっかく創設された拠点業務
ですからね。つけた灯を消すことのないようわたしたちも努力したいと思っています。

市長 交流拠点を放棄することはありませんよ。市民活動交流拠点運営協議会より出された要望書につ
いて具体策を練っています。期待して下さい。

浅川 もっと現場で活動している市民と密接に話し合う
機会を多くして欲しいと願っています。

市長 わたしは市民と連携しながら、行政を進めたい
と思っています。市民と対話する機会を作り、
活力あるまちづくりをしたいと思っています。



まだまだ質問したいことは沢山あります。ほかにも市政
に課題は多いようですが、とりあえず、わたしたちが運
営している交流拠点業務が打ち切られることはないよう
でした。市民の不安を打ち消す明るい声で、新年の抱負
を聴かせてもらいました。大いに期待したい年明けです。

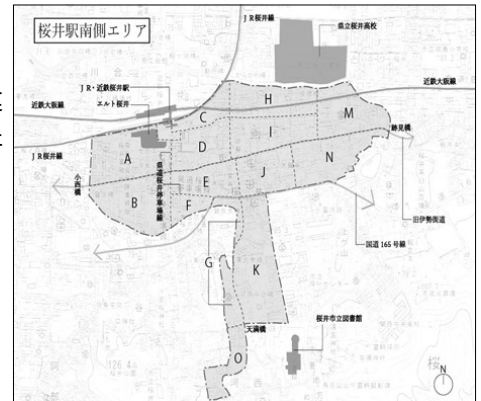
桜井駅南エリア(周辺)のまちづくり活動状況報告

①建物悉皆(しっかい)調査

H26年度文化財を活かした地域活性化事業(文化庁)

空き町家・空き店舗対策と駅南エリアの活性化に向け、まずは、現状把握から始めています。

右図のA~O地区内の約1300軒(桜井区と一部河西区)全戸を地元建築士会ヘリテージマネージャーサポートのもと、大阪工業大学林田研究室と摂南大学小林研究室の先生と学生により、H26年8月18日~29日の9日間、毎日15名体制で外観目視による調査が実施されました。その



の結果、エリアにより差異はありますが、伝統的な意匠を持つ建物(例;うだつ・煙出し・ぱったり床机・虫籠窓(むしこまど)・駒寄・素焼き瓦・木格子など)が残存し、有形登録文化財に値すると思われる伝統的な町家もありました。また、伝統的な町家を商店として改修したいいわゆる「看板建築」も多く残り、上手に改修や保存をすれば、旧伊勢街道を再生した魅力ある商店街として甦る可能性を秘めていることも判りました。



空き店舗・空き町家となった看板建築



下屋を見せ、新たに掲げられた木製看板(推奨例)

今回、林田研・小林研のサマースクールとして泊まりこみで調査を実施するにあたり、H25年度HANARARTの会場となった佐藤邸(等彌神社宮司のご両親所有)をセミナーハウスとして活用させて頂きました。この佐藤邸は、平成25年度の林田研の学生達が、空き家を改修し、耐震性と断熱性を高めるため、実測調査⇒ワークショップによるコンセプトづくり⇒模型(右下写真参照)作成と計画提案を行い、住み手の意見も反映させながら完成に至りました。このように、学生達が地域に入り、住民の方々とコミュニケーションを図りながら継続的に活動することは、大変有難く、学生たちが地域に根付く可能性も考えられ、若者の雇用の観点からも重要です。このような機会を与えていただいた佐藤様には深く感謝する次第です。



空き町家改修提案模型

②アンケート及びヒアリング調査 H26年度地域商店街活性化事業(中小企業庁)

現在、年末年始にかけ、これらの地区1300軒の方々と空き町家や空き店舗を所有されている方々にアンケート調査(コンサルタント;株地域計画研究所による)を実施中です。また、高校生や子育て世代の母親にヒアリング調査を実施しました。1月中ごろにも高齢者世代にヒアリングさせていただく予定です。調査完了後は、専門家である大学とコンサルタントに分析していただき、住民(地権者)を中心に行政など地域に関わる皆さんと共に、次世代が根付くような魅力ある街道となるよう、より具体的に景観づくりや空き町家・空き店舗利活用などに共に取り組むようになればと願っております。そこで、1月~2月は、ミニ講座(別紙チラシ参照)を4回開催します。調査・研究した内容を広く市民の皆様へ発表し、他地域から講師も招き、産学官民みんなで考えたいと思っていますので、ご理解と共に是非ご参集の程よろしく申し上げます。

③ワークショップ（その1）-シナリオプランニング H26年度エリアマネジメント推進事業（奈良県）

担当は、桜井本町通り在住で当会常任理事の岡本さんです。また、講師として、岡本さんのご友人である荒金雅子（日本ファシリテーション協会理事）様をお願いし、産官学民約20名の参加者で計4回開催しました。下記は、駅南エリアの活性化に向け出された一例（キーワード）です。

<ハード整備> 桜井駅南口ーエルト2階直結歩行者デッキ
集客と利便性を高める、バリアフリー化

<公共サービス> 市民サービスのできる市役所機能
仕事帰りに立ち寄れる、行政との対話

<観光拠点> 人々が集い、行き交い、賑わっている観光案内所
若手観光ガイド（まほナビ）の配置、待合

<子育て支援機能> 保育所・子どもの遊び場・悩み相談・女性の働く環境サポート

このキーワードをもとに、来年度実現化に向けた検討を始める予定です。



④ワークショップ（その2）-景観まちづくり H26年度エリアマネジメント推進事業（奈良県）

担当は、桜井市本町通・周辺まちづくり協議会のエリアマネジメント部会です。また、講師を、町家の調査にご尽力いただいている大阪工業大学准教授林田大作先生をお願いし、シナリオプランニングと同様に産官学民約20名の参加で3回開催しました。下記は、1回目に出された意見の一例です。

<対象エリア> 旧伊勢街道（小西橋～跡見橋）重点景観形成地区

<コンセプト> 懐かしさ・木の暖かさ・光を感じながら、歩いて居て・楽しい町並みをつくろう

<景観要素> ルール（統一性）、しくみづくり（助成・職人養成・人材・空き町家・空き店舗対策等）、必要な機能（空き町家を利活用し、町宿・カフェ・ミュージアム・ミニ図書館・本屋等）、デザイン（本物素材：瓦・木・石・土を使用、軒先の連続性、看板建築改修、路面材等）、活動やイベント（子供と高齢者の交流、景観保全、音楽や文化イベント、高校生の関与）、その他（調査の必要性、町家利活用を促進するファンド、住民参加の工夫、維持管理等）

2回目は、林田先生から町家調査の中間報告をしていただき、状況を参加者が学習した上で、学生達が作成した通り沿い全戸の連続立面写真（右写真参照）に、良い景観、良くない景観、修景したい景観などを自由に書き込みました。次年度以降、景観コード（指針）づくりに繋がればと思っています。



⑤実現に向けて

桜井本町通商店街を含む駅南エリアの活性化を実現するためには、産官学民の協働が不可欠です。住みよい町を維持するためには、地権者が主体的にまちづくりに参画すると共に、住民が協力する必要があります。また、「官」の行政もまた、人口減少時代に向けて、公共施設の有効活用や中心市街地活性化など、まち全体のビジョンを示す重要な役割があります。「学」はそれらをサポートする支援者です。



松井市長により、昨年、副市長を座長とし市各まちづくり関係課・市商工会・桜井本町通周辺まちづくり協議会・うるわしの桜井をつくる会が一同に集まって、将来の駅南エリアの将来ビジョン等を検討する「桜井駅南エリア（周辺）まちづくり検討会」が発足されました。「産・民」である私たちに何ができるのか、「官」に何ができるのか、共有しつつ、共に実現可能な方策を創り出したいと考えています。引き続き、皆様方のご協力・参加のほどよろしくお願いします。

記 常任理事 中尾七隆

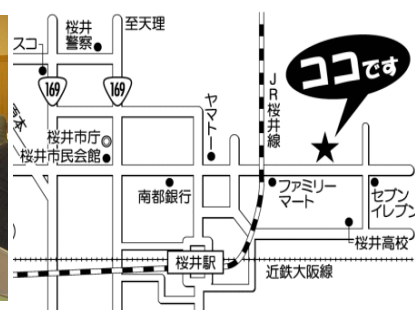
事務局だより

- 1月の常任理事会は新春交流会開催により休会とさせていただきます。

第4回新春交流昼食会

皆さま、おめでとうございます。今年の新春交流昼食会は、杉江満直氏とアマデウス大西氏によるコンサートやお楽しみ抽選会を企画し、楽しい交流会にしたいと思います。会員に限らず多数のご参加をお待ちします。

日時 平成27年1月24日（土）正午より
場所 桜井市粟殿「あるぼ〜る」
会費 ¥3,000



お知らせ

●図書館友の会

1月の読書会は、『枯木灘』中上健次著を読みます。
自然に生きる人間の原型と向き合い、現実と物語のダイナミズムを現代に甦えらせた著者初の長篇小説。

日時 1月20日（火）午後1時30分から
場所 まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先 浅川 肇 TEL：090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



●『公開講座』

桜井市・奈良県立大学・桜井市市民活動交流拠点運営協議会の協働企画による、まちづくりに関する公開講座が開催されます。一部の講座のみの受講も可能ですので、ぜひご参加ください。（参加申込不要）

日時とテーマと講師

2月7日（土）

13:00～14:30「道の駅の展開と役割」奈良県立大学准教授 津田康英

・14:45～16:15「観光客の望む交通体系と地元の意識」奈良県立大学教授 新納克廣

場所 まほろばセンター多目的ホール（エルト桜井2階）

問い合わせ 桜井市役所 市民協働課協働推進係 TEL：0744-42-9111（内線225）



後記 時々、思うことですが、安倍首相が歴史をふり返るとき、長州藩が活躍した150年前の明治維新の時代を想起するのではなかろうかと。ここが桜井市民との違いで、桜井では2000年前をふり返る。それほど桜井は歴史が深い。あまりにも深い歴史のあるまちで、市民活動とは何か。市民活動としての歴史の捉え方をもう一度考えてみたいと思う年明けです。

（あさ）

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345